

第4章 計画の効果的な推進に向けて

平成13年に施行された国の「子どもの読書活動の推進に関する法律」では「すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない」とその基本理念を定めています。

「第二次瑞穂市子どもの読書活動推進計画」はこの基本理念に基づき、子どもたちの読書活動の実態と第一次の推進計画の成果と課題を加味した上で、子どもたちの幅広いニーズに応えるために策定されました。今後5年間、この計画に基づき、関係各所が協力・連携して具体的施策の実現を目指します。

推進計画実行の過程では、関係機関との相互の情報交換や取組の調整を行うと同時に、より効果的な活動の推進とするために社会情勢等の変化に伴い、必要に応じてその見直しが迫られることもあると予想されます。また、計画の形骸化を防ぐためにも、定期的に進捗状況を確認・評価するための場が必要になってきます。

今後、本計画実行のために必要な措置を講じ、計画の目標達成に向けて責任をもって取り組んでいきます。

【今後の具体的な取り組み】

（１）瑞穂市子どもの読書活動推進会議の定期開催

- ① 第二次「瑞穂市子どもの読書活動推進計画」の点検・評価及び審議等のために「瑞穂市子どもの読書活動推進会議」を設置し、定期的に進捗状況を確認します。
- ② 学校、保育所、幼稚園、図書館、読書ボランティア団体、行政等の連携の場を位置づけ、本計画の進捗状況を交流・把握するとともに、新たな施策について検討します。
- ③ 関係各所の研修会等の場において本計画の趣旨と内容を周知し、共通理解・共通行動のもと、計画の遂行に努めます。
- ④ 児童、生徒、保護者や各関係機関に定期的にアンケート等を実施し、進捗状況を的確に把握しながら成果と課題の確認に努めます。

（２）啓発・広報などの推進

- ① 計画の概要をまとめ、市広報やホームページ等で広く市民に公開し、子どもの読書活動への関心と理解が、市民の間に広く深まっていくように努めます。
- ② 「子ども読書の日」、「こども読書週間」には関連行事を積極的に開催するとともに、子どもや保護者に対する啓発活動を行います。

（３）財政上の必要な措置の推進

- ① 市は本計画に示された具体的施策を実行するために必要な財政上の措置を講ずるよう努めます。
- ② 市は本計画に示された具体的施策を実行するために必要な財政上の措置を講ずるよう、国・県に働きかけていきます。

第5章 子どもの読書活動推進計画の実施体系

【実施区分】新規…新たな方策として5年間の中で実施に向けて取り組んでいく。

継続…現在行っている方策として今後も継続して取り組んでいく。

拡充…現在行っている方策としてより拡大・発展して取り組んでいく。

【担当・所管】

健推…健康推進課 学教…学校教育課 生学…生涯学習課 幼支…幼児支援課 総務…総務課

図…図書館 保…保育所 幼…幼稚園 小…小学校 中…中学校 P…PTA

	具体的な方策・取組	実施区分	担当・所管課
1 家庭・地域	① ブックスタート事業の滑らかな実施	継続	◎健推・◎生学・図
	② ホームページ等を活用した図書館の情報提供	拡充	◎図
	③ 家庭教育学級研修会等での家読運動の啓発と推進	拡充	◎生学（幼・保・小・中）
	④ 地域での蔵書を確保（図書館、学校、市民等）するためのシステムの確立と本との出会いの場の充実	拡充	◎幼支 （総務・図・健推）
	⑤ 読み聞かせボランティア団体の支援と子育て支援関係機関での読み聞かせ推進	継続	◎幼支 （総務・図・健推）
	⑥ 子育て支援関係施設・事業でのブックリスト配布と読書活動の広報・啓発	拡充	◎幼支・◎総務 （図・健推・生学）
2 保育所・幼稚園	① 定期的な読み聞かせ活動の充実	拡充	◎保・◎幼
	② 絵本と親しむ行事や取組の充実	拡充	◎保・◎幼
	③ 図書資料・蔵書の充実	拡充	◎保・◎幼
	④ 読書に関する保・幼・小の交流と連携	新規	◎保・◎幼
	⑤ 図書館との連携による団体貸出の活用	拡充	◎保・◎幼・（図）
	⑥ 「読み聞かせ」「家読」等読書活動の情報提供等の広報・啓発	拡充	◎保・◎幼（生学）
	⑦ 読書活動に関する職員の研修の場と機会の整備	拡充	◎保・◎幼
3 小学校・中学校	①ーア 読書活動推進計画の作成と実行	継続	◎学教（小・中）
	①ーイ 学校図書室を活用した教育活動の展開	継続	◎学教（小・中）
	①ーウ 司書教諭の図書室運営のための時間の確保	新規	◎学教（小・中）
	①ーエ 読書活動推進に向けた交流・研修の場の充実	継続	◎学教（小・中）
	②ーア 必読書や推薦図書の選定	継続	◎学教（小・中）
	②ーイ 良書適書の計画的な購入と蔵書構成の見直し	継続	◎学教（小・中）
	②ーウ 学習に役立つ図書や資料の収集・整備	継続	◎学教（小・中）
	③ーア 図書室の読書環境の整備	継続	◎学教（小・中）
	③ーイ 図書や資料の効果的な展示・紹介、提供	継続	◎学教（小・中）
	③ーウ 図書室のレファレンス機能の充実	継続	◎学教（小・中）
	③ーエ 図書館団体貸出の積極的な利用	継続	◎図（小・中）
	③ーオ 図書館や家庭と学校が連携した「読書通帳」の活用と推進	新規	◎学教（図）

	④ーア 各校の特色を活かした読書関連行事の開催	拡充	◎学教（小・中）
	④ーイ 図書委員会の活動の充実と創意工夫のある主体的な読書活動の推進	継続	◎学教（小・中）
	④ーウ 読書習慣の定着と読書力の向上を図る活動の工夫（朝読書、全校読書、月1時間読書等）	拡充	◎学教（小・中）
	④ーエ 司書教諭、図書整理員の交流会の実施	新規	◎学教（小・中・図）
	⑤ーア 家庭教育学級を活用した読書関連行事の開催	継続	◎生学（小・中・P）
	⑤ーイ 学校広報誌等を活用した保護者への読書活動推進の広報・啓発	拡充	◎生学（小・中・P）
	⑤ーウ 保護者やボランティアによる読み聞かせやブックトークの推進	拡充	◎学教（小・中）
	⑤ーエ 家庭で読書を推進する取組「家読」の充実	拡充	◎学教（小・中・P）
4 図 書 館	①ーア 児童書コーナーの整備と配架の工夫	継続	◎図
	①ーイ 多様な図書・資料の収集と蔵書の充実	継続	◎図
	①ーウ 学校、家庭と連携した「読書通帳」の推進	新規	◎図
	②ーア 調べ学習や授業内容に対応した図書・資料の収集とレファレンス機能の充実	拡充	◎図（小・中）
	②ーイ 団体貸出利用促進のための広報と働きかけ	拡充	◎図(保・幼・小・中)
	②ーウ 図書カード申請の啓発	継続	◎図(保・幼・小・中)
	②ーエ ブックスタート支援と情報提供	継続	◎図(健推・生学)
	②ーオ 図書館職員の派遣（出前講座）	新規	◎図(保・幼・小・中・総)
	③ーア 「おはなしの会」の継続・充実	継続	◎図
	③ーイ 子ども向け企画の充実	継続	◎図（小・中）
	③ーウ「子ども読書の日」「こどもの読書週間」等にあわせた行事等の開催	継続	◎図
	④ーア 読み聞かせボランティア養成講座、ステップアップ研修会・講座の開催	継続	◎図
	④ーイ ボランティア団体との情報交換連絡会の開催	継続	◎図
	⑤ーア 図書館見学受け入れの促進	継続	◎図（小・中）
	⑤ーイ 乳幼児の保護者が利用しやすい環境の工夫	継続	◎図
	⑥ーア 児童書について専門性を有する職員の育成	継続	◎図
	⑥ーイ 学校と図書館が連携した交流会の実施	新規	◎図（小・中）
	⑦ーア 子どもたちに向けた図書やイベントの情報発信	継続	◎図
	⑦ーイ 図書館ホームページのリニューアルの計画・実施	新規	◎図
	⑧ーア 障がいに応じた蔵書の充実	新規	◎図
	⑧ーイ 郵送貸出のサービス開始	新規	◎図

第6章 第二次子どもの読書活動推進計画の努力目標

No.	目標項目		平成 23 年度	平成 28 年度 目標	平成 28 年度 実績	平成 33 年度 目標
1	小中学校において全校一斉読書を実施している学校の割合		70% (7校/10校)	100% (10校/10校)	100% (10校/10校) 週1回以上実施 80%	週1回以上 実施 100%
2	小中学校における 不読者の割合	小学校	4%	2%	2.8% (33/1186) (小2:3.6%) (小5:1.9%)	2%
		中学校	20%	12%	14.4% (77/535)	12%
3	司書教諭として図書室運営に携わる平均時間数(時間/週)		0時間	1時間	0.1時間	1時間
4	保育所、幼稚園、小中学校、図書館において「子どもの読書の日」「こどもの読書週間」等で読書啓発に取り組んだ割合		81% (17/21 箇所)	100% (21/21 箇所)	52% (11/21 箇所)	100% (21/21 箇所)
5	「家読(うちどく)」運動の啓発・推進と家庭での読書環境の整備(父親の「読み聞かせ」「親子読書」の啓発)					100% (21/21 箇所)
6	小中学校での月1時間読書の時間の実施					100% (10/10校)
7	読書記録が、履歴として財産になっていく「読書記録」「読書通帳」の活用					100% (10/10校)
8	家庭教育学級(保幼小中)での読書推進に関する具体的な実践					100% (14/14 学級)

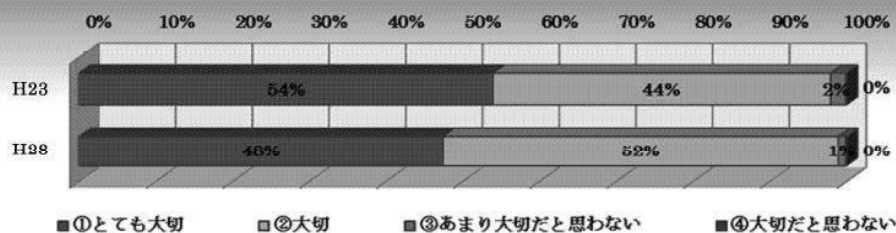
乳幼児保護者アンケート

平成23年と平成28年の比較

(問1はお子さんの年齢を確認する質問のため割愛)

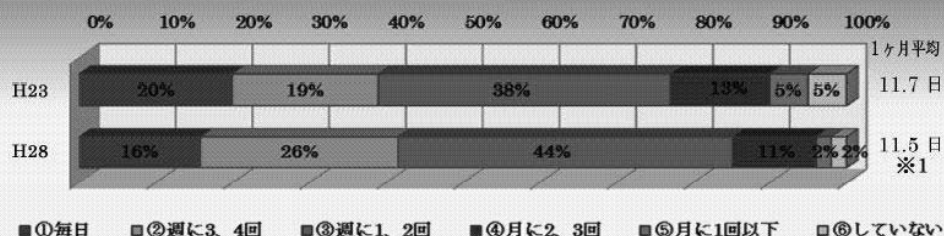
◎ 成果
▲ 課題
・ 分析内容

問2. お子さんに読み聞かせすることは大切だと思いますか。(n=588)



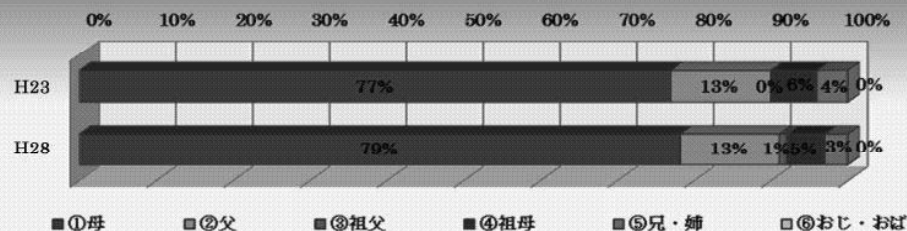
◎読み聞かせを「①とても大切だと思う」「②大切だと思う」と考えてみえる保護者の割合が、平成23年と平成28年と共に98%あり、高い水準を維持している。

問3. お子さんに読み聞かせをしていますか。(n=590)



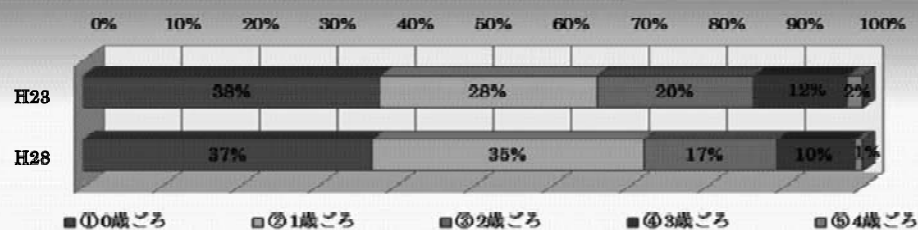
◎週1回以上読み聞かせをしている家庭が平成23年の77%から平成28年には86%と向上している。「月に1回以下」にしている割合が共に減少し、家庭で読み聞かせが定着してきた。
▲毎日読み聞かせをしている家庭の割合が4ポイント下がった。

問4. 読み聞かせをするのは主にどなたですか。(n=582)



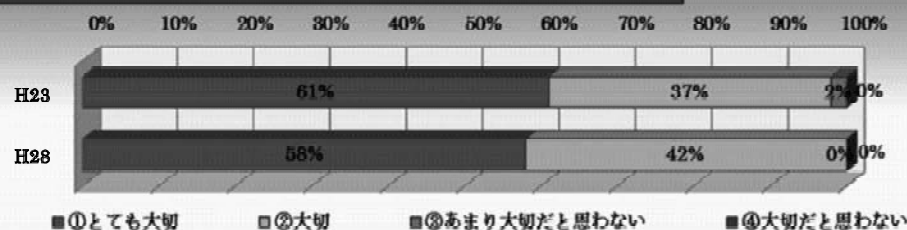
▲平成23年に比べ「母」が読み聞かせをしている割合が2ポイント増えた。「父」の割合は変化が無いので、父親が読み聞かせに協力できるような啓発や取組が必要である。

問5. いつ(何歳)ごろから読み聞かせをしていますか。(n=577)

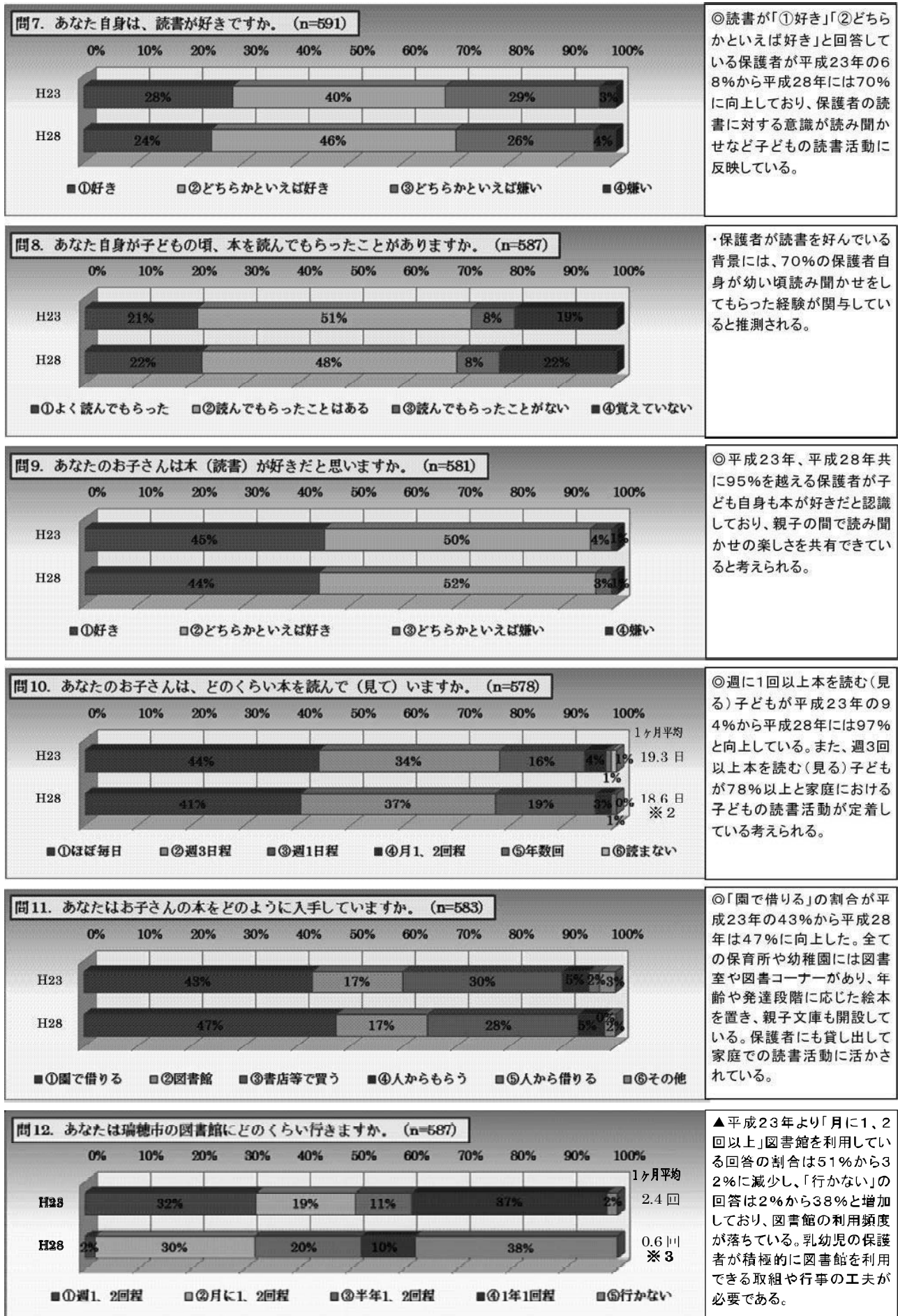


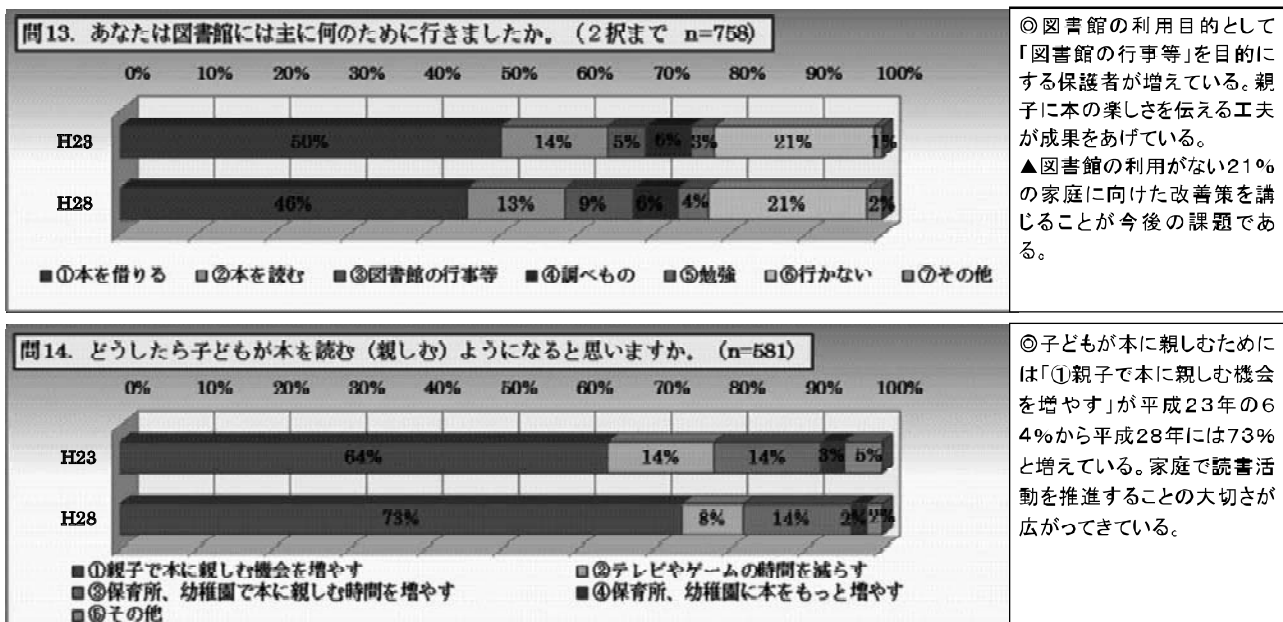
◎0・1歳から読み聞かせをはじめている家庭が平成23年の66%から平成28年には72%へと上昇した。ブックスタートの実施、親子遊び教室、発達支援教室での絵本の読み聞かせや子どもの本との出会いを支援する取組が成果として現れている。

問6. あなたは子どもが読書することは大切だと思いますか。(n=588)



◎子どもが読書することは「あまり大切だと思わない」「大切だと思わない」の割合が共に0%となった。
▲「とても大切だと思う」保護者の割合が3ポイント下がってきている。





※1 計算式(①人数×30+②人数×15+③人数×6+⑤人数×1+⑥人数×0)÷総人数

※2 計算式(①人数×30+②人数×15+③人数×4+④人数×1.5+⑤人数×0.5+⑥人数×0)÷総人数

※3 計算式(①人数×78+②人数×18+③人数×3+④人数×1+⑤人数×0)÷総人数÷12

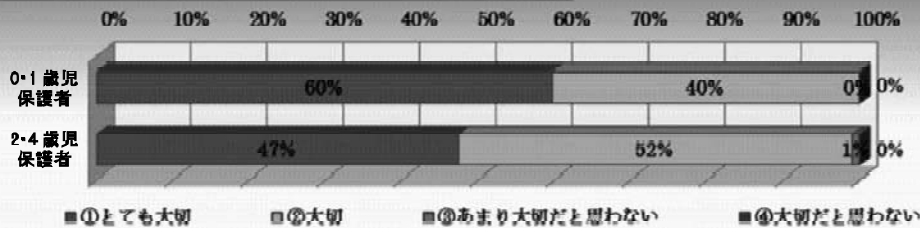
乳幼児保護者アンケート

0・1歳児（ブックスタート経験）と 2・4歳児（ブックスタート未経験）の比較

（問1はお子さんの年齢を確認する質問のため割愛）

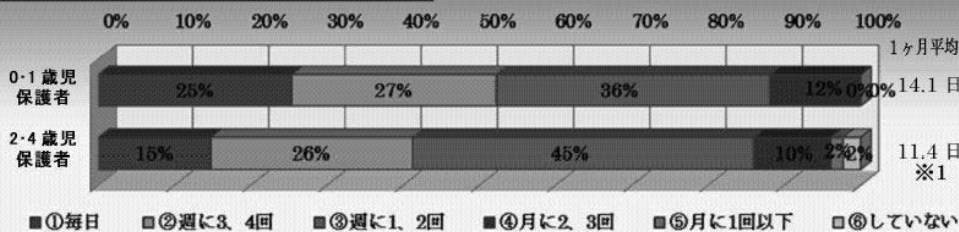
◎成果
▲課題
■分析内容

問2. お子さんに読み聞かせすることは大切だと思いますか。



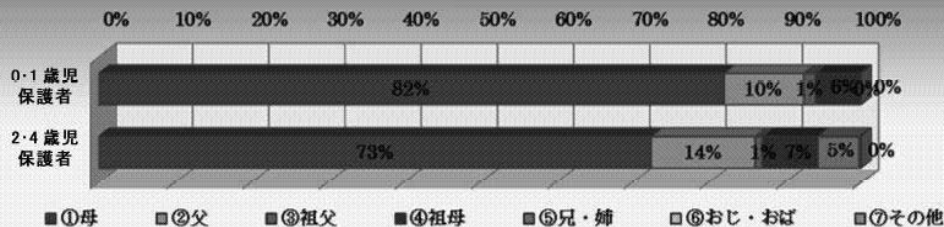
◎読み聞かせを「とても大切だと思う」保護者の割合は、ブックスタートを経験している0・1歳児保護者の方が13ポイント高い。

問3. お子さんに読み聞かせをしていますか。



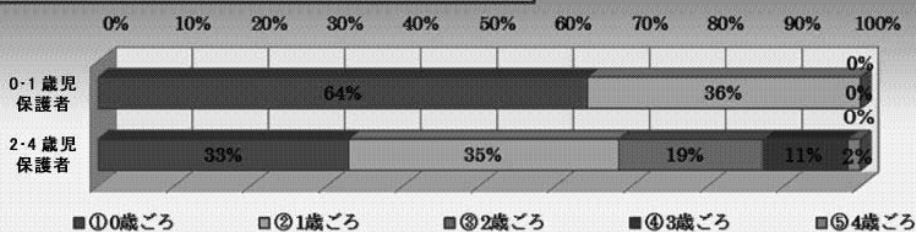
◎読み聞かせを毎日実施してみえる家庭がブックスタートを経験している0・1歳児保護者の方が10ポイント高い。また、1ヶ月の平均読み聞かせ日数も2.7日多い。

問4. 読み聞かせをするのは主にどなたですか。



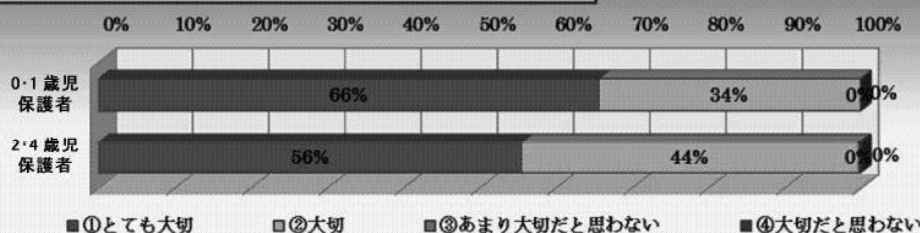
▲ブックスタートを経験している0・1歳児保護者の方が2・4歳児保護者に比べ「母」が読み聞かせをしている割合が9ポイント高い。「父」の割合は4ポイント低く、0・1歳児の父親を対象とした読み聞かせに協力できるような啓発や取組が必要である。

問5. いつ（何歳）ごろから読み聞かせをしていますか。

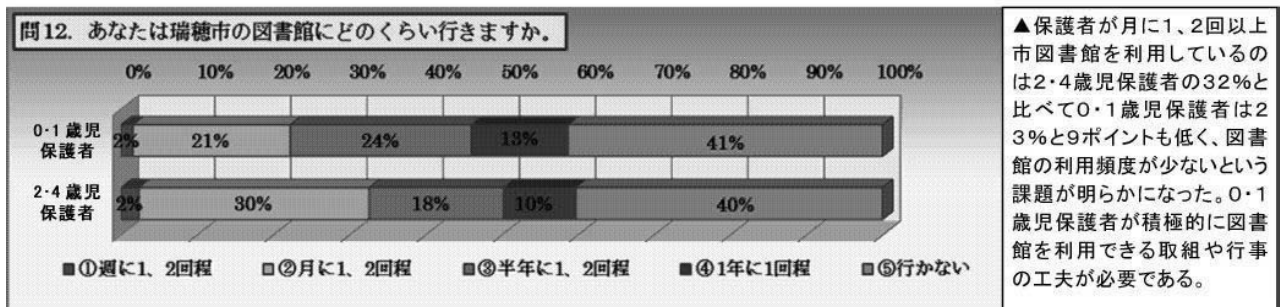
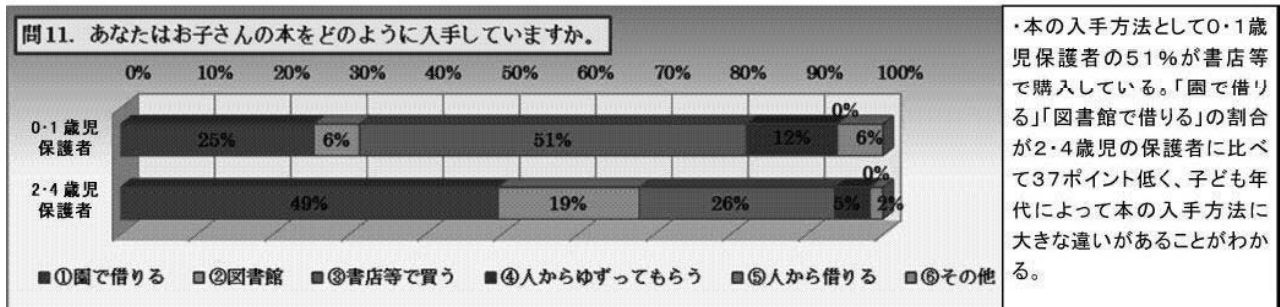
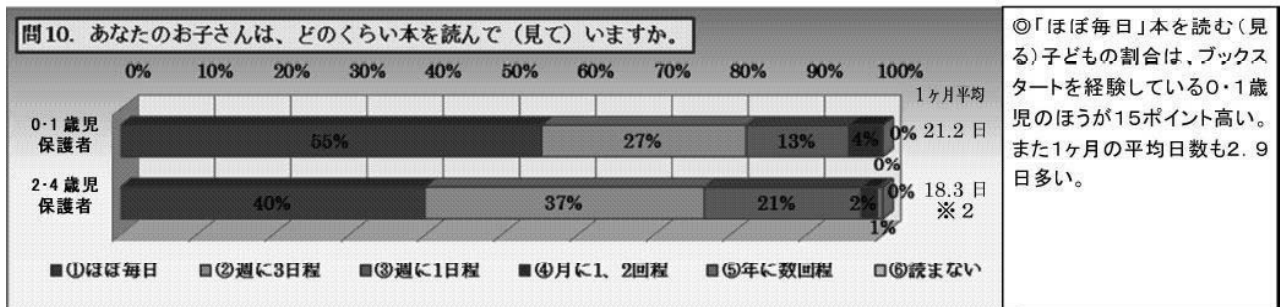
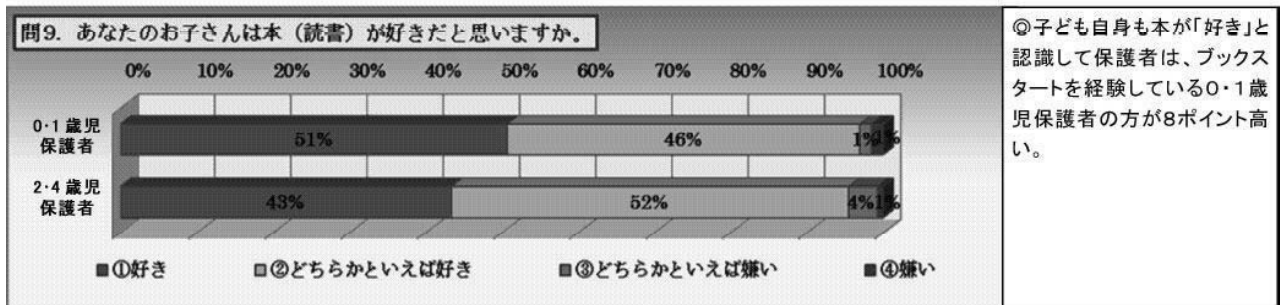
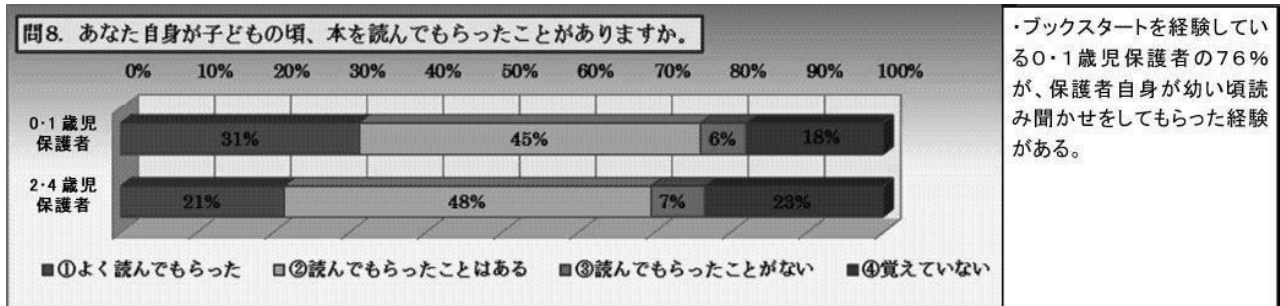
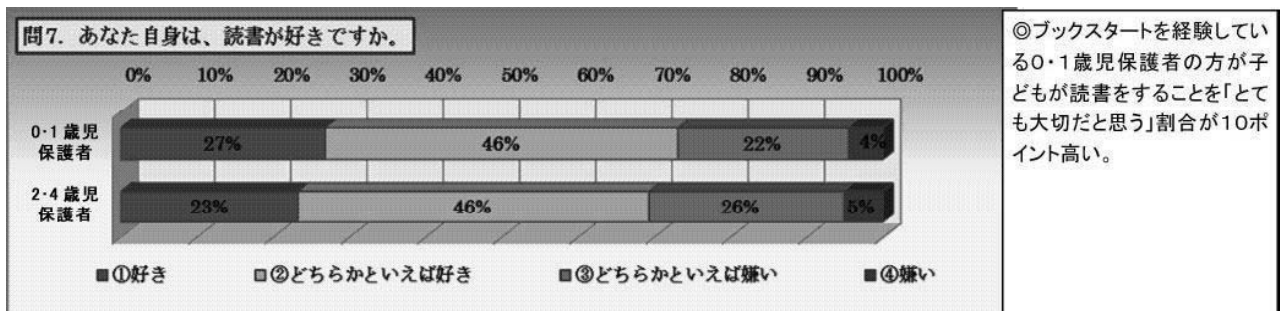


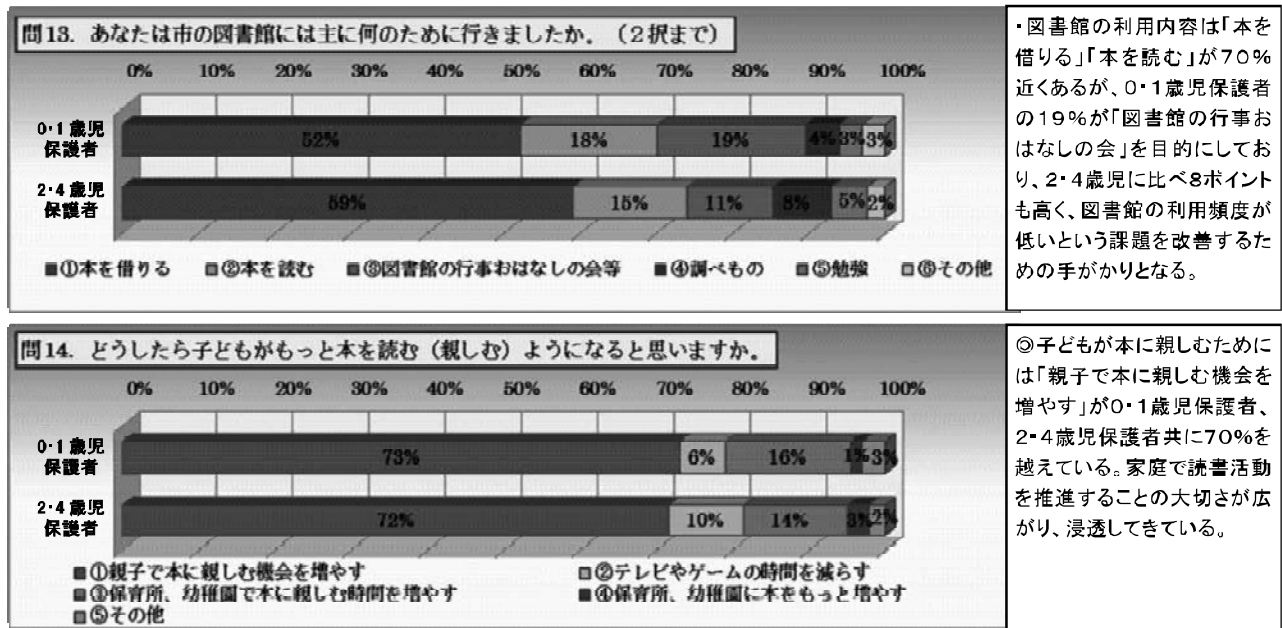
◎ブックスタートを経験している0・1歳児保護の方が0歳から読み聞かせをはじめている割合が高い。10か月児相談でのブックスタートの実施、親子遊び教室（3・4か月児）、発達支援教室での絵本の読み聞かせや子どもの本との出会いを支援する取組が成果として現れている。

問6. あなたは子どもが読書することは大切だと思いますか。



◎ブックスタートを経験している0・1歳児保護者の方が子どもが読書することを「とても大切だと思う」割合が10ポイント高い。





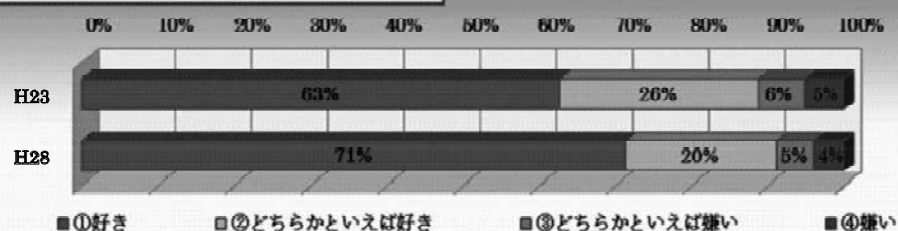
児童・生徒アンケート

平成23年と平成28年の比較

(小学2年生)

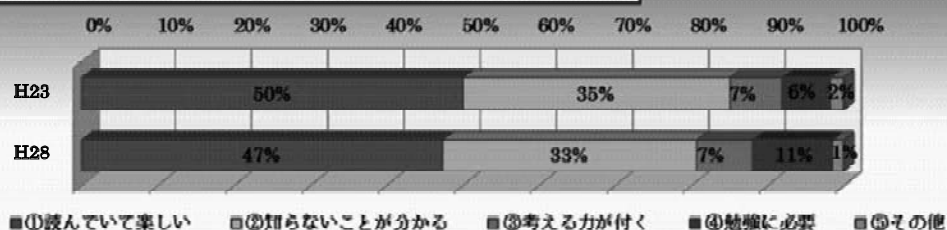
◎成果
▲課題
-分析内容

問1. あなたは本を読むのが好きですか。(n=615)



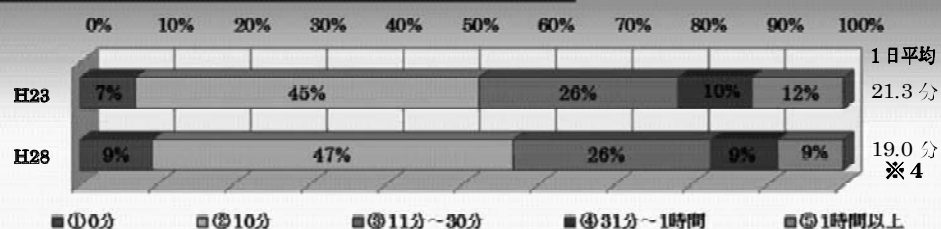
◎「好き」と回答する児童の割合が8ポイント増え、「好き」「どちらかといえば好き」の合計の割合は90%を超えている。

問2. なぜ本を読むのが好きですか。(問1で①、②の回答者 n=561)



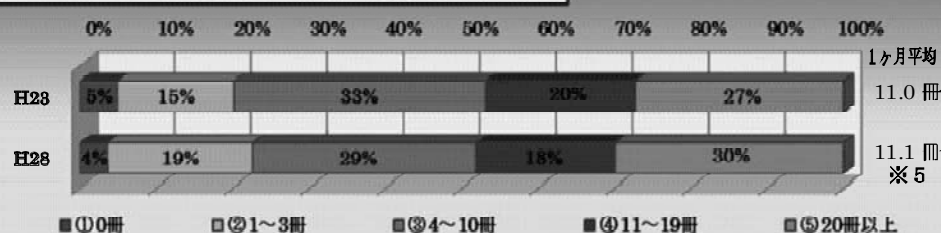
・本を読むのが好きな人の理由として「勉強に必要だから」と回答する割合が5ポイント増えてきた。

問3. あなたは家で一日何分くらい本を読みますか。(n=615)



▲家庭で読書する時間が「0分」と「10分」の割合が4ポイント増え、「1時間以上」の割合が3ポイント下がった。平成23年に比べ家庭での読書時間は21.3分から19.0分に減ってきている。

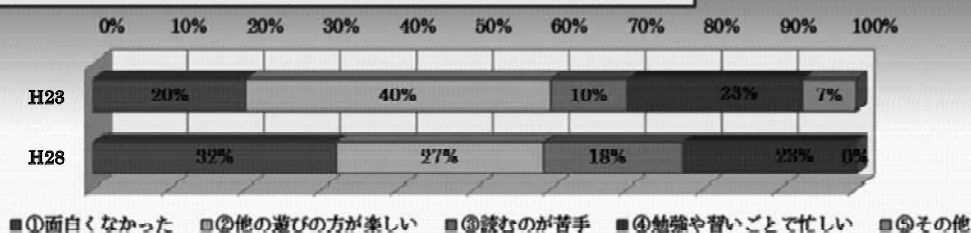
問4. あなたは1ヶ月で何冊くらい本を読みますか。(n=615)



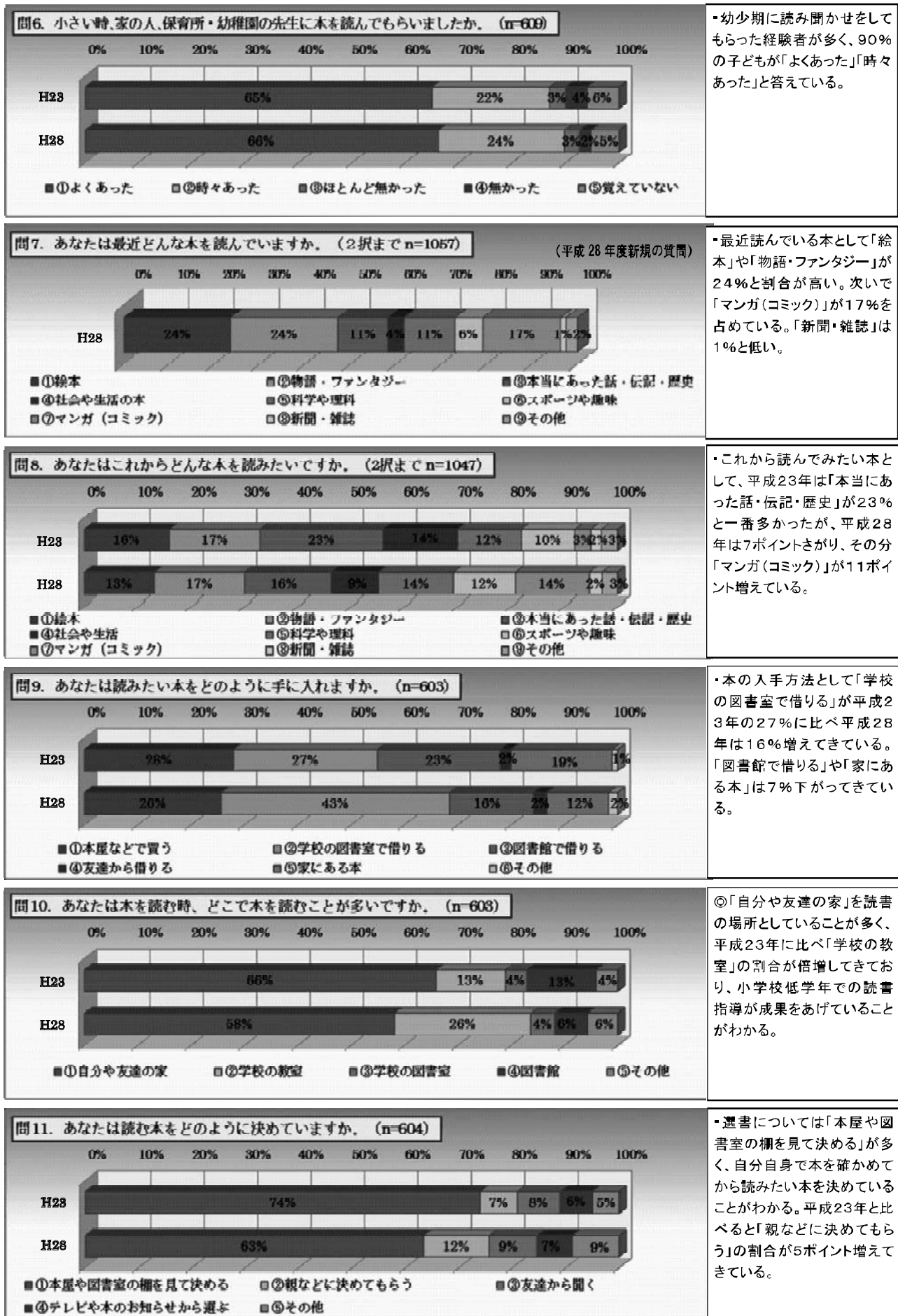
◎1ヶ月に「20冊以上」本を読む割合が3ポイント増えた。「0冊」の割合は1ポイント下がり不読者が減ってきている。1ヶ月の平均読書冊数も0.1冊増えている。

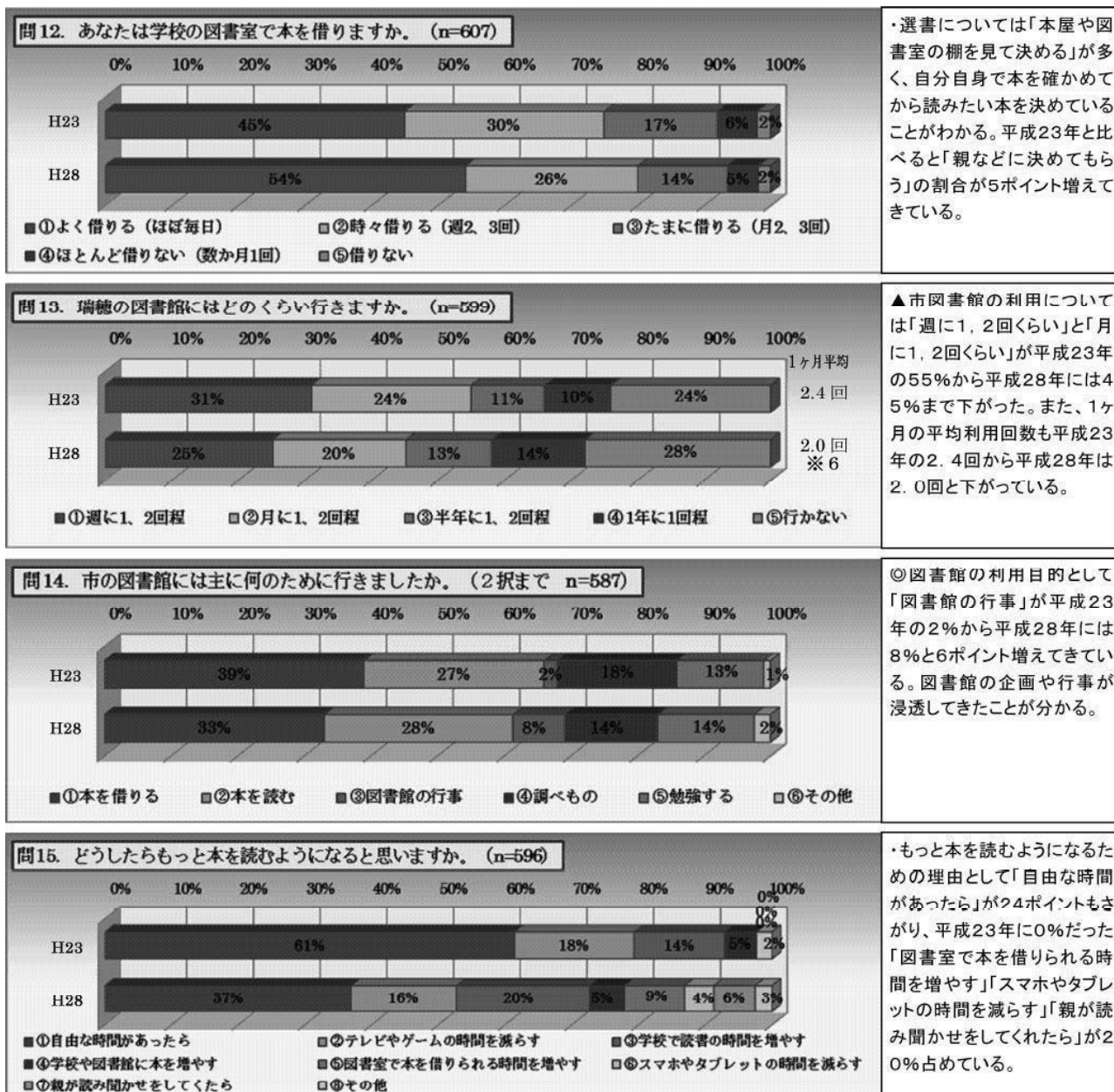
▲不読者の平成28年の目標値2%は達成できていない。

問5. あなたが本を読まないわけはなんですか。(問4で0冊と回答n=22)



▲本を読まない理由として「他の遊びの方が楽しいから」が減り、「面白くなかった」の割合が12ポイントも増え、読書自体への興味関心の低い子が増えてきている。





※4 計算式(①人数×0+②人数×10+③人数×20+⑤人数×45+⑥人数×60)÷総人数

※5 計算式(①人数×0+②人数×2+③人数×7+⑤人数×15+⑥人数×20)÷総人数

※6 計算式(①人数×78+②人数×18+③人数×3+④人数×1+⑤人数×0)÷総人数÷12

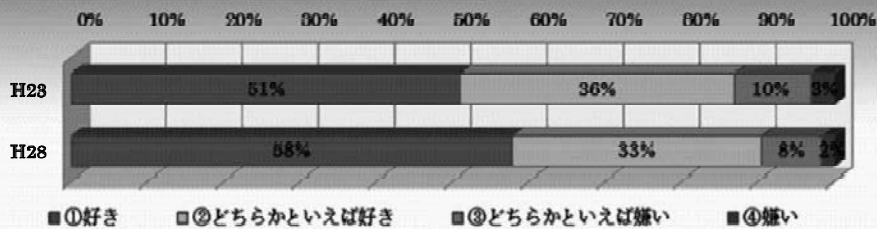
児童・生徒アンケート

平成23年と平成28年の比較

(小学5年生)

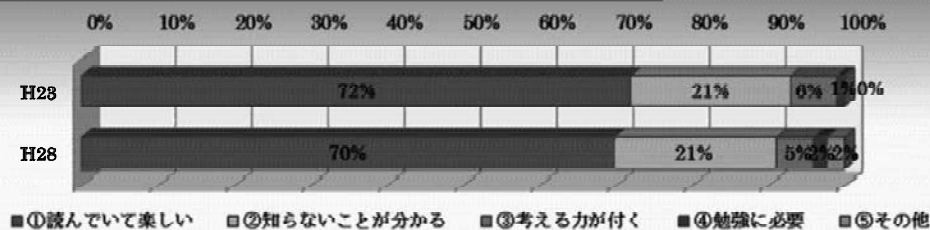
◎成果
▲課題
■分析内容

問1. あなたは本を読むのが好きですか。(n=571人)



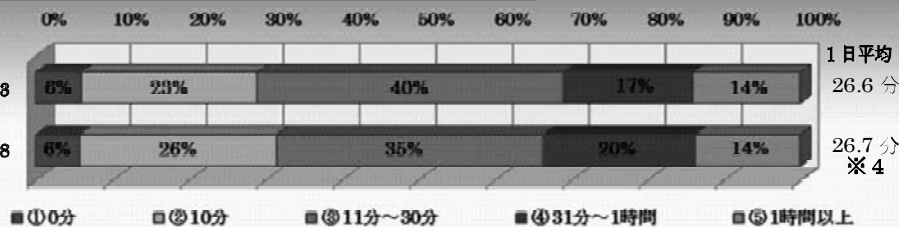
◎平成23年に比べ、平成28年は「好き」と回答している割合が7ポイント増えた。また、「好き」「どちらかといえば好き」を合わせても87%から91%へと増えている。

問2. なぜ本を読むのが好きですか。(問1で①、②の回答者 n=517)



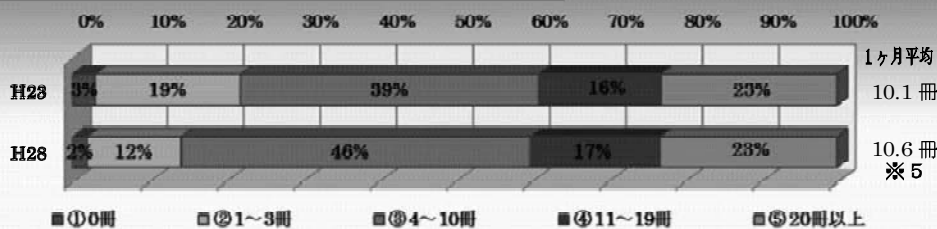
・本を読むのが好きな人の理由として「読んでいて楽しいから」が70%を超える。平成23年と同じような傾向である。

問3. あなたは家で一日何分くらい本を読みますか。(n=571)



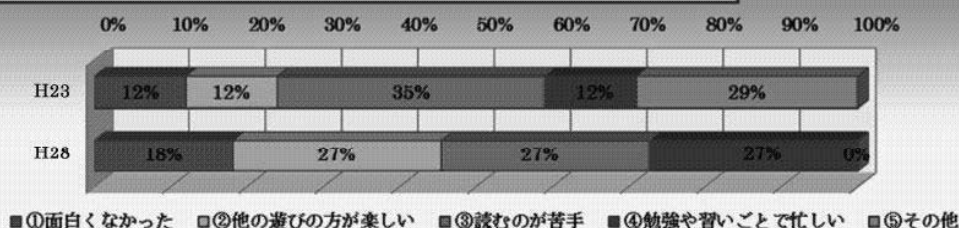
◎一日30分以上読書をする児童の割合が、平成23年の31%から34%に向上している。1日の家庭での平均読書時間が0.1分向上した。

問4. あなたは1ヶ月で何冊くらい本を読みますか。(n=571)



◎1ヶ月の読書冊数3冊以下の割合が平成23年の22%から平成28年は14%に下がった。「0冊」の割合は1ポイント下がり、不読者が減ってきている。また、5年生は不読者の平成28年の目標値2%を達成することができ、1ヶ月の平均読書冊数も0.5冊増えた。

問5. あなたが本を読まない理由はなんですか。(問4で0冊と回答者 n=11)



・平成23年と平成28年を比べると「読むのが苦手だから」の割合が8ポイント下がっている。その分「他の遊びの方が楽しいから」、「勉強や習いごとで忙しいから」が増え、読書の時間を確保することに課題があることがわかる。

